

令和3・4年度 文部科学省指定「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」  
令和3・4年度 熊本県教育委員会指定・甲佐町教育委員会指定「道徳教育研究推進校事業」

### 研究主題

# 自己を見つめ、よりよい生き方につなぐ 道徳教育の充実

～主体的に考え、共に学び合う道徳科の授業づくりと、  
なりたい自分とつなぐ学校総体の取組の工夫～



主体的に考え、他者と共に  
学び合う授業づくりの工夫



本校マスコットキャラクター  
【たっぴー】

授業改善に生かす振り返り  
と評価の工夫



なりたい自分とつなぐ道徳  
カリキュラム・マネジメントの充実



本校は、標記の指定を受け2年目の研究に取り組んで参りました。昨年度の研究を引き継ぎ、今年度は「主体的に考え、共に学び合う道徳科の授業改善」と「子供たちのなりたい自分とつなぐ学校総体の取組の工夫」を中心に授業実践を積み重ねてきました。前向きにチャレンジする子供や自他を尊重し合う子供の姿から本研究の手応えを感じているところです。

本リーフレットは、昨年度の取組を引き継ぎ実践してきた道徳教育についての研究概要をまとめたものです。ぜひご覧いただき、ご指導ご助言をいただきますようお願い申し上げます。



令和4年11月8日（火）  
甲佐町立龍野小学校

学校教育目標

ふるさとに、笑顔広げる 龍野っ子を育てる

本校の道徳教育の重点目標

○なりたい自分を目指して自律的に判断し、主体的に行動する児童の育成  
【A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任】

○集団の中で自分の役割を自覚し、友達と協力し合って楽しい学級や学校をつくらうとする児童の育成  
【C-(14)(15)(16)よりよい学校生活, 集団生活の充実】

研究主題

自己を見つめ、よりよい生き方につなぐ道徳教育の充実

～主体的に考え、共に学び合う道徳科の授業づくりと、なりたい自分とつなぐ学校総体の取組の工夫～



【仮説】計画的・発展的な教育活動のもと、児童が主体的に考え、共に学び合うような道徳科の授業づくりやなりたい自分とつなぐ学校総体の取組の工夫を行えば、自己を見つめ、よりよい生き方を目指す児童の育成を図ることができるだろう

【手立て1】なりたい自分とつなぐ道徳カリキュラム・マネジメント(※)の充実

- ①「道徳カリキュラム・マネジメント表」の改善と取組の工夫
- ②「心のノート」の活用の工夫
- ③児童の生活につなぐ取組の工夫

【手立て2】児童が主体的に考え、他者と共に学び合う授業づくりの工夫

- ①自分事として考える導入の工夫
- ②問題意識をもつ教材提示、発問の工夫
- ③主体的に学び、他者との考えをつなぐ学習活動の工夫
- ④自己を見つめ、道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫

【手立て3】授業改善に生かす振り返りと評価の工夫

- ①授業改善に生かす評価項目の工夫
- ②授業改善に生かす教師の声掛けの工夫

学校総体でつなぐ道徳教育

家庭・地域とつなぐ

GTの活用

学び合う教師集団

幼・保、小、中連携

※ここで示す「道徳カリキュラム・マネジメント」とは、道徳教育を核とするカリキュラム・マネジメントのことを意味する。

# 【手立て1】 なりたい自分とつなぐ道徳カリキュラム・マネジメントの充実

児童の「なりたい自分」と道徳教育をつなぐために…

- 児童の実態から各学年の重点目標を設定
- 重点目標を基に「道徳カリキュラム・マネジメント表」を作成
- なりたい自分と道徳科の授業をつなぐ教育活動の取組

道徳カリキュラム・マネジメント表とは…

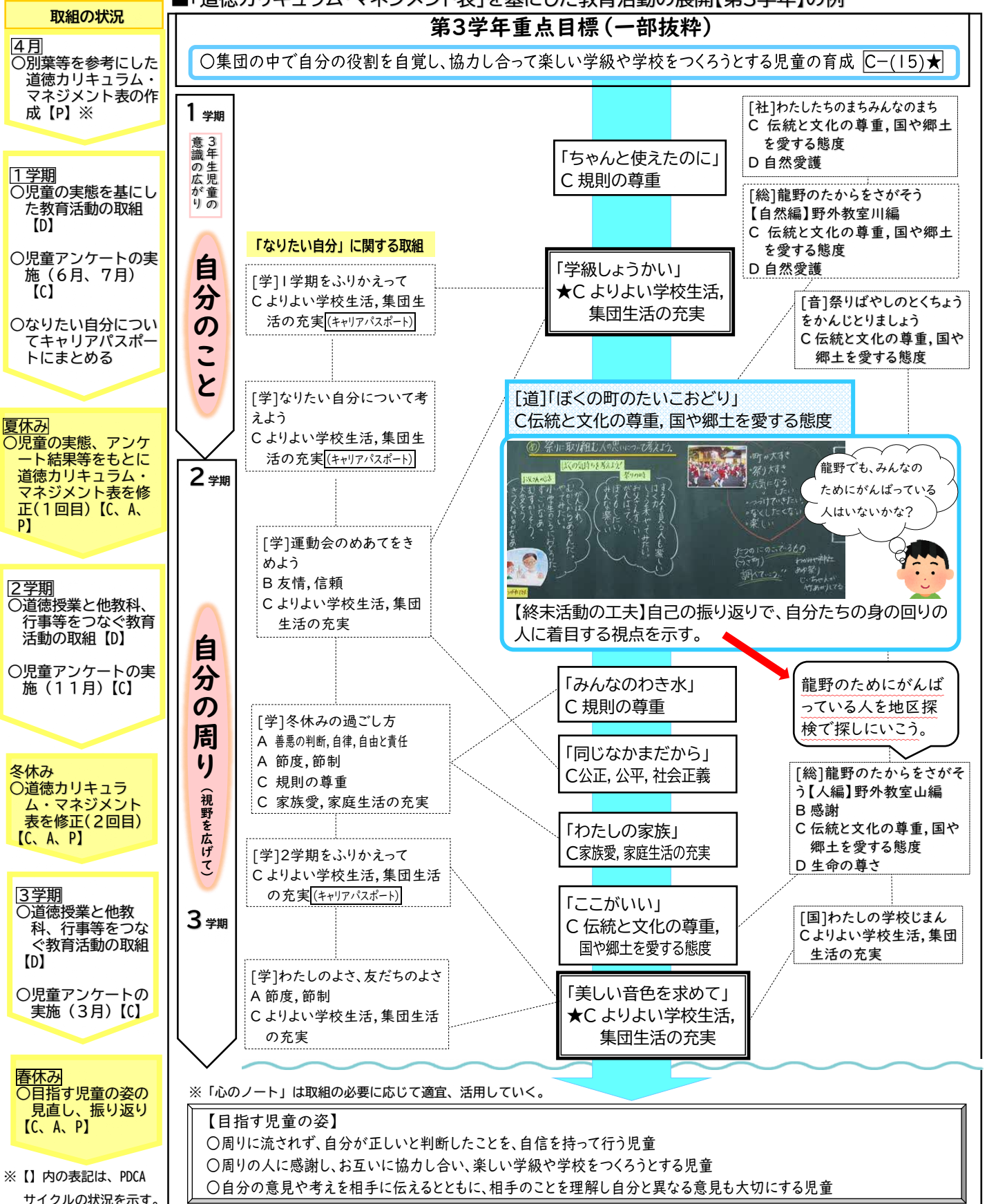
- 各学年の重点目標を軸に道徳科の教材を整理し、それに関連する他教科・行事等とのつながりを図化したもの
- 年間を見通したカリキュラム・マネジメントの充実と教育活動全体を通じた道徳性の育成につながるもの

## ①「道徳カリキュラム・マネジメント表」の改善と取組の工夫

### ■「道徳カリキュラム・マネジメント表」を基にした教育活動の展開【第3学年】の例

#### 第3学年重点目標（一部抜粋）

○集団の中で自分の役割を自覚し、協力し合って楽しい学級や学校をつくらうとする児童の育成 **C-(15)★**



【手立て2】 児童が主体的に考え、他者と共に学び合う授業づくりの工夫



学習過程

気付く

①自分事として考える導入の工夫【工夫①】

- ★児童の実態を生かす
  - ・アンケート等の活用
  - ・体験活動の写真等の活用
- ★教材と関係付ける
  - ・偉人の紹介(年表活用等)、挿絵の提示
  - ・教科等と関連した話題提示

めあての提示(価値への方向付け・自分事として捉える) ※授業によっては、他の学習場面で提示

②問題意識をもつ教材提示、発問の工夫【工夫②】

教材提示

基本発問



【問題意識をもつ発問】  
 ・心に残ったことやもっと考えたいことはありませんか。  
 ・考えたい場面はどこですか。

書く活動の位置付け(理由も問う)

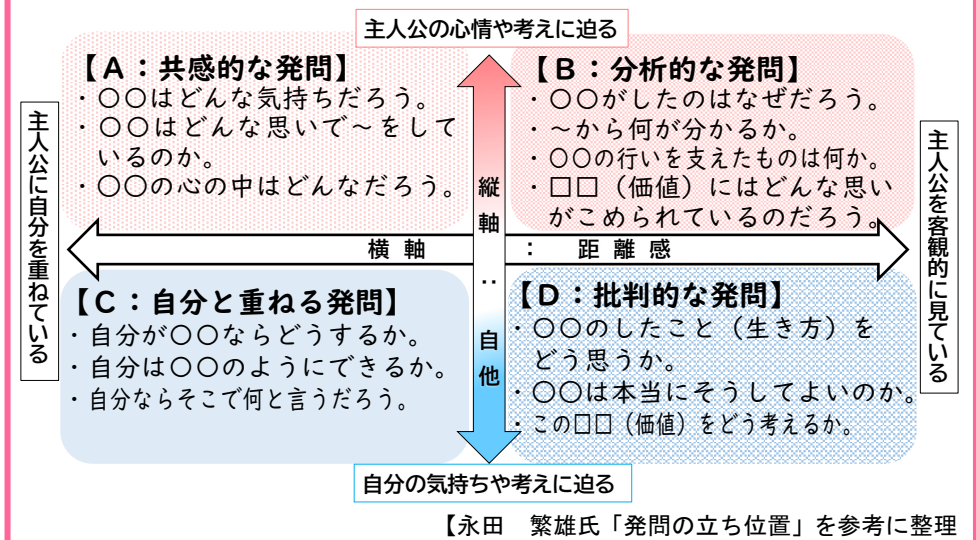
多面的・多角的に考える

中心発問

自分事として考える

基本発問

【4つの発問パターン】※授業場面で使い分ける



【永田 繁雄氏「発問の立ち位置」を参考に整理】

考える・広げる

③主体的に学び、他者との考えをつなぐ学習活動の工夫【工夫③】

【教具の工夫】：円盤カード、心情メーター、ネームカードの活用

【教師のコーディネート】

【児童の考えをつなぐ発問】  
 ・〇〇さんと同じようなことはない?  
 ・〇〇さんが言った意味は?



(友達の意見をつなぐ発表)  
 〇〇さんの考えはいいですね。  
 →私も～【共感】  
 →ちょっと違って～【相違】

- 【話し方名人への道】
- ⑤ つなげる発表
  - ④ たしめ発表
  - ③ 聞いている人を見て
  - ② ていねいな言葉づかい
  - ① 相手に聞こえる声の大きさ  
 相手が聞きやすい速さ

見つめる・つなげる

④自己を見つめ、道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫【工夫④】

【振り返りの視点】

①今までは ②今日学んで ③これから

【振り返りの発問】

・今日学んだ心で自分が一番大切にしたいことは何ですか?

【実践意欲につなぐ終末の工夫例】

- 教師の説話
- 児童の姿から→アンケート、日記、写真
- 一般化につなぐ→ことわざ、新聞記事、詩、本など
- ゲストティーチャーの活用
- 構造的な板書を生かした振り返り

※上記は学習過程の基本の型とし、児童の実態、内容項目、教材に応じて柔軟な授業構成につなぐ。

# 授業展開例(4年生)

## 【教材】「ちこく」

出典「小学どうとく 生きる力  
4年(日本文教出版)」

## 児童の実態

周りのことを考えて行動する機会が増えてきた一方、相手を意識した言動に欠けるところがあり、自分勝手な態度が見られることがある。





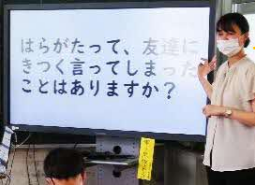
【ねらい】遅刻したかずやの気持ちや、かずやを責めてしまい後悔するこう太の思いを考えることを通して、自分の生き方を見つめ直し、相手のことを考えて行動しようとする心情を育てる。

## 教材

## 内容項目

【相互理解, 寛容】

※目指す児童の姿、主題に迫る学習課題、本時で働かせる見方・考え方については、学習構想案に記載(資料集参考)

学習過程	学習活動 (・児童の反応)	教師の発問	授業改善の観点
気付く	1 挿絵を提示し、どんな場面か全体で出し合う。 この絵はどんな場面だと思いますか。 ・友だちとけんかをしてしまった。・物を壊してしまった。		【工夫①】 教材文の一場面だけを提示することで、内容への興味や疑問等を引き出すようにした。
	2 教材を聞き、話し合う。 主人公「こう太」の気持ちを考えながら聞きましょう。		【工夫②】 教材についての感想や疑問点を交流することで、児童が主体的に考えることを促し、全体での内容理解につなげるようにした。
考える	基本発問 話を聞いて、「①心に残ったこと②みんなと考えたいこと③疑問」を發表しましょう。 ・かずやが遅刻した理由も聞かずにこう太が決めたのはなぜだろう。 ・かずやは弟の面倒を見ていただけなのに、チームをやめさせるのはだめ。		【工夫③】 主人公の心情の変化に着目し、その心の内容を班で検討させることで、本時での学びを生かしながら大切にしたい心について考えることができた。
	基本発問 かずやが遅刻してきたとき、こう太の心の中はどうなっていたんだろう。	【A:共感的な発問】	
	中心発問 かんずやの遅刻の理由を知ったこう太が後悔していたことを全体で確認する。 こう太が、寂しそうなかずやを見て後悔したのはなぜだろう。【B:分析的な発問】 (伝え合い→全体交流) ・遅刻したかずやも悪いけど、自分も言いすぎた。 ・かずやは弟の面倒を見ていただけなのに、かずやを悲しませてしまった。 ・あやまりに行きたいけど、強く言いすぎて行きにくい。		
	基本発問 こう太の気持ちは、始めと後で? ・変わった! どんな心が大きくなったから? 【D:批判的な発問】 ・「やさしい心」「あやまる心」「こうかいの心」 「ゆるす心」「友達を思う心」「相手意識のある心」	班で考えた心をハートカードに記入し、黒板に貼っていた。 	
広げ			【工夫④】 登場人物の心情の変化を構造的な板書で整理した。「大切にしたい心」を児童の言葉で中央に掲示したことで、学んだことを視覚的にも意識させることができ、振り返りでの活用につながった。
	3 自分自身を振り返る。 ○児童アンケートの結果を共有し、自分の生活を振り返る。		【工夫④】 児童アンケートを紹介し、似た経験を想起させることで振り返りへの記述に生かせるようにした。
見つめる・つなげる	基本発問 自分が大切にしたい心を選んで、その理由も書きましょう。 ・私も○○さんと同じように「相手を思う心」を大切にしたいです。ケンカをしたとき仲直りができると思うからです。		

# これまでの授業実践から

学習過程

気付く

## ①自分事として捉える導入の工夫

★児童の実態と道徳的価値を関連付けた話題を提示し、自分の生活とのつながりに気付けるようにする

### 1年「かずやくんのなみだ」【公正、公平、社会正義】

■運動場の写真と男の子の挿絵を提示し、男の子が泣いている理由を出し合うことで、教材の内容に興味関心をもって臨めるようにした。

運動場でかずやくんが泣いているのはなぜだろう？



## ②問題意識をもつ教材提示、発問の工夫

### 5年「がんばれ熊本、がんばれ西原」【よりよい学校生活、集団生活の充実】

■「集団」に対するイメージをマッピングし、具体的な場面を想起させて教材提示につなげる。



「集団」って、どんなイメージがありますか？

## ③主体的に学び、他者との考えをつなぐ学習活動の工夫

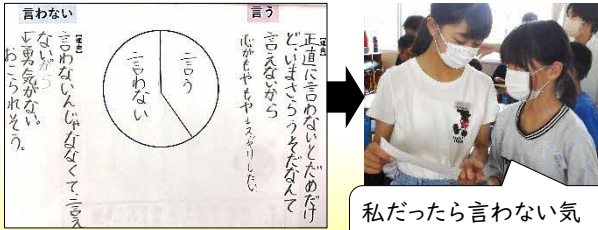
★自分の考えを明確にし、考えを伝え合う学習活動を工夫することで、児童の発言から道徳的価値につなぐ

### 5年「のりづけされた詩」【正直、誠実】

■心情円盤シートの活用→考えの視覚化し、伝え合う必要感をもつ



正直に先生に言いますか？  
言いませんか？その理由は？  
C: 自分と重ねる発問



児童の心情円盤シート

私だったら言わない気持ち強いよ。わけは…

### 6年「ブランコ乗りとピエロ」【相互理解、寛容】

■ネームカードの活用→考えの視覚化と、考えの理由の検討につなぐ



サムの行動を許せますか？  
許せませんか？その理由は？  
C: 自分と重ねる発問



ぼくだったら自分勝手なサムを許せない。

考える

広げる

見つけるにつなげる

## ④自己を見つめ、道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫

★自分の生活とつなげて考えることで自分の納得解を導き出し、道徳的価値の内面化や実践意欲につなぐ

### 2年「きつねとぶどう」【家族愛、家庭生活の充実】

■保護者からの手紙を読み、自分に対する家族の思いを知ることで、家族に対する感謝や大切な思いを改めて捉え直せるようにした。



手紙を読む児童

(お家の人にいつも応援してくれてありがとうございますと伝えたいです。)



### 3年「つたえたい言葉は」【感謝】

■自分たちのために活動されている方(交通安全指導員)からの声を紹介し、「感謝」の心について自分事として振り返ることにつなげた。

ドラ・パト隊の方は「みんなが元気に登校してくれるとうれしい」という思いでみんなのことは見守ってくださっているんだね。



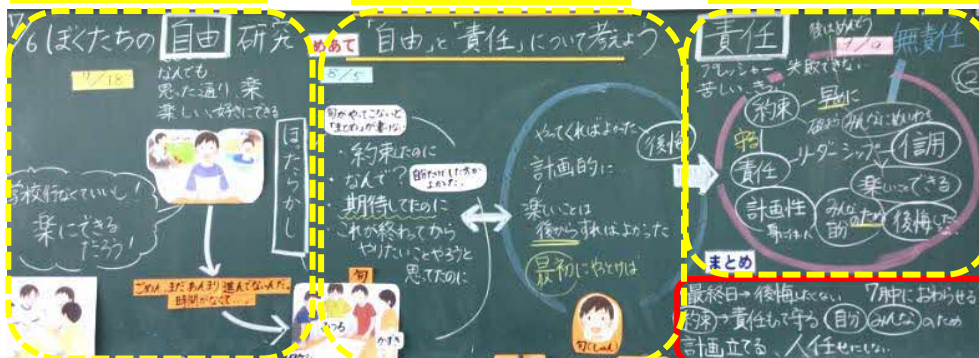
★構造的な板書の工夫 ○縦書き、横書きにこだわらず、児童の思考を整理し深化させる構成を意識した。

教材理解、人物理解

中心発問、児童の考え

振り返り、自分事として

○振り返りの視点を提示し、本時の学びを児童が自分と重ねて考えられるようにした。



今までは

- 自分の経験
- 行動や言葉から

今日学んだことから

- 考えが変わった所
- 納得した所
- 大切にしたい心

これからは

- 何を生かす？
- どんな人になりたい？

※板書の仕方については、教材の内容、授業展開等によって、柔軟に活用し取り入れていく。

# 【手立て1】 なりたい自分とつなぐ道徳カリキュラム・マネジメントの充実

②「心のノート」の活用の工夫 ○全学年で心のノートを準備し、他教科等・体験活動や道徳授業と関連する場面で活用した。

## 集団宿泊教室とのつながり：5年生【C-(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】

### ①事前オリエンテーション

■全体で考えを出し合う →自分の「成長させたい力」を決める →考えをまとめる(心のノート活用)



【児童の心のノートから】

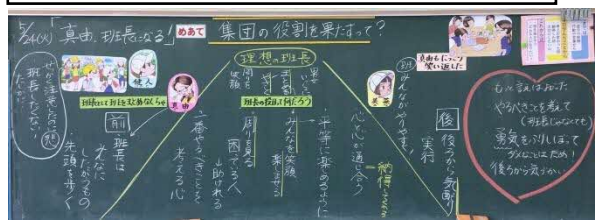
私が集団宿泊で成長させる力は二つあります。一つ目は、団結力を高める力です。理由は、5年生は意見がまとまるときと別れるときの差が激しいし、ナイトゲームとかでは、みんなで協力して団結して進む必要があるからです。二つ目は、平等に接する力です。特にこの力はこれからもたくさん現場で使うと思うからです。このように私は、集団宿泊で楽しむと共に、この二つの力を成長させたいと思います。

### ②集団宿泊教室に参加する。



### ④道徳授業とつなぐ

「真由、班長になる！」Cよりよい学校生活, 集団生活の充実



【児童の心のノートから】

この集団宿泊で私に身に付いた力は「団結力を高める力」だ。この力はこれからの人生でつかっていく。この集団宿泊で私に身に付いた力は「団結力を高める力」だ。この力はこれからの人生でつかっていく。

### ③振り返りを行う。(心のノート活用)

■事前オリエンテーションで決めた「成長させたい力」を振り返り、自分の感想を心のノートに書く。

## ③児童の生活につなぐ取組の工夫

### キャリアパスポートの活用【主にA-(4)個性の伸長、C-(14)(15)(16)よりよい学校生活, 集団生活の充実】

3年生のシート

こんな自分になりたい！  
おそろぬ自分

こんなことをがんばりたい！  
次は、こんなことをがんばりたい！

クロールのいきつきが、おそろぬ自分。いきつきする時は自分の指先で空を見るの長くうして泳ぎました。次は泳ぎたいです。

水泳で足をつかずに泳ぎたいです。みんなと泳ぎたいです。毎日泳ぎたいです。みんなと泳ぎたいです。

こんな力が身についたよ！  
みんなと泳ぎたいです。

■児童の実態に合わせて学年別のシートを作成し、自分で設定したなりたい自分に近づくために、どんな力を成長させたいかについて具体的に考えるようにした。

○1～3年生

○4年生1学期

■学期ごとになりたい自分とがんばったことを振り返る。

○4年生2学期～

○5・6年生

■将来の自分や1年間を見通してなりたい自分について考え、年間で成長させたい力を設定し振り返る。

5年生のシート

「なりたい自分に近づこう」

なりたい自分(こんな人になりたい)  
バスケットボール選手  
みんなが大好きと思われたい人

そのために

【学習・授業】  
成長させたい力は、みんなが大好きと思われたい人。みんなが大好きと思われたい人。みんなが大好きと思われたい人。

【委員会】  
なりたい自分に近づくために成長させたい力を書き込んでいる

【運動会】

### 野外活動「川編」の取組【主に、C-(14)(15)(16)よりよい学校生活, 集団生活の充実, D-(18)(19)(20)自然愛護】

■めあてを基に活動に取り組み、振り返りに生かすことで、道徳的価値の育成につなぐ。

#### 1. 事前オリエンテーションとめあての確認



- 高学年のめあては
- ①ふるさとの自然を知る
  - ②ふるさとの自然を守る
  - ③仲間と協力

#### 2. 竜野川で水質チェック



家庭廃水はちよつとも混ぜると、川の水質を変えてしまうんだ。

#### 3. テーマに沿って、活動の様子をまとめた校内掲示



- 低：いきものにやさしくしよう  
中：竜野川を大切にしよう  
高：ふるさとを守るために、私にできること

**【手立て3】**

**授業改善に生かす振り返りと評価の工夫**

**①授業改善に生かす評価項目の工夫**

○学習構想案に「授業振り返りのポイント」を記載  
構想案の「児童の評価の視点」をもとに、実際の児童の様子を構想案に書き込み、評価に生かすようにした。

【授業振り返りのポイント】※授業終了後に、授業者や参観者が児童の気付きを記録し評価に活かす  
○児童

視点	評価の視点1	評価の視点2
	和枝の気持ちを考えることを通して、誠実に行動することの大切さについて考えている。	誠実に生きようとするのが他者の信頼や自己の向上につながるという理解を基に、誠実な行動について考えを深めている。
実際の児童の様子	【言う】( )自分も安心するから。( )スッキリするとよもやがなくなるから。 【言わない】( )言わないじゃなくていいない。勇気がない。おこれぞ。( )友達から文句言われるかも。書き直すことはできないし…	( )ほくも弟のせいにしたことがあったから、これからは正直に言うようにしたい。 ( )前はおじいちゃんから言われたことの意味がわからなかったけど、今日の授業でわかった。もしうそをついてしまっても正直に言いたい。

※実際の学習構想案は資料集を参考

○「振り返りの観点」をもとに授業を見直す  
「振り返りの観点」に沿って授業の振り返りを記入したシートを週案に貼り、授業を見直し改善する意識の向上につなげた。

【週案に貼った授業の振り返りシート】

【道徳：振り返りのポイント】9月15日(水)4年：道徳「花さき山」 題意：感動、畏敬の念

○授業者【4：できた、3：まあまあできた、2：あまりできなかった、1：できなかった】

振り返りの観点	自己評価	気づき
①自分事として考える導入の工夫	4・③・2・1	○いくつか場面を想定して、子供が興味を持てるように工夫することの大切さを感じた。
②問題意識をもつ教材提示、発問の工夫	4・③・2・1	○教材の内容が整理できていない子供が「分からない」と言っていたので、授業の冒頭に大きな紙に「分からない」と書いておくと、子供も安心して質問することができた。
③主体的に学び、他者との考えをつなぐ学習活動の工夫	4・3・②・1	
④自己を見つめ、道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫	4・3・②・1	

道徳科の授業の「振り返りの観点」に設定した4項目

**②授業改善に生かす教師の関わりの工夫**

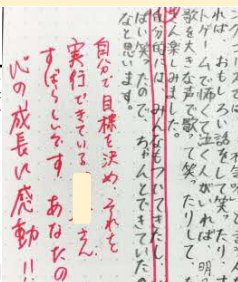
○児童の自己肯定感アップにつながる声掛けの工夫  
講師を招いて研修を実施し、「児童が元気になる言葉」を学び、実践につなげた。



【教える・指導】

～じゃなくて○○してみよう  
こうするといいかも。  
試してみて

道徳ノート「コメント例」



★児童が元気になる言葉

【寄り添う・認める】

・なるほどね～  
・いいと思うよ  
・わかるなあ  
・私もそうだった。  
・きっと○○だったんだね。

【伸ばす】

・どうすればよかったかな？  
・大丈夫よ、一緒にがんばろう。  
・ダメだったらちがう作戦があるよ。  
・何度でも応援するからね。

○模擬授業の取組

構想案検討や教師が子ども役となる模擬授業を行い、共通理解・共通実践のもと授業改善につなげた。



**○成果**

**成果と課題**

【○成果、●課題】

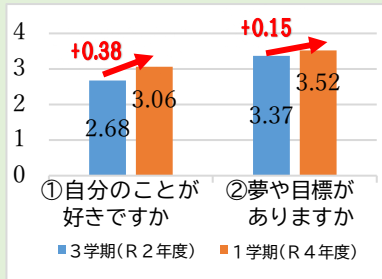
○道徳カリキュラム・マネジメント表の作成、修正、実践を繰り返したことで、教師自身が道徳科の授業と他教科等・体験活動との関連を意識して教育活動に取り組むことができた。さらに、学年同士で表を見直す中で、担当学年だけでなく学年の系統を意識して学習活動を計画しようとする意識の高まりにもつながった。

○なりたい自分とつながれた道徳カリキュラム・マネジメントの実践は、教師が児童の実態と重点目標を意識して教育活動を展開することにつながった。また、児童はなりたい自分を具体的に捉えることで意欲的に活動に取り組む姿が見られた。

○発問の型を整理し直したことで、発問の内容を精選して授業づくりに臨むことができ、児童の多面的・多角的な考えを引き出すことにつながった。

○グラフより、「自分のことが好き」「夢や目標がある」と答えた児童が R2年度よりも増加した。学校総体の道徳教育の充実が、児童の自己肯定感の高まりや将来に対する前向きな意欲の向上につながった。

○授業における教師の振り返りの観点をもとにして毎週の授業を記録していったことで、自身の授業づくりの課題に気付くとともに、観点を意識して授業を組み立てていくことにつながった。



【1学期の授業参観の保護者アンケート】

積極的に授業に参加していて楽しそうでした。道徳の授業の「親切」という行動も子どもたちも気付かずにしている事を先生が伝えていたこともいいなあと思いました。なぜそう思ったのかに対して2年生でもたくさんのことを考えているんだ…と感心しました。



**●課題**

●道徳科の授業や体験活動が終わった後に、相互の関連に気付くことがあった。そのため、各活動での気付きを加除修正し、次年度の取組に生かしていく必要がある。

●学習構想案では、評価の視点に基づいた児童の様子を書き込むようにしたが、児童の学びの姿をどのように見取り、記録し、評価していくかについて、今後も検討していく必要がある。